

令和7年度第1回小牧市男女共同参画審議会議事録

1 日 時：令和7年8月27日（水）午前9時30分～

2 場 所：まなび創造館 研修室

3 [出席者]

委 員：代田義勝、武藤敦子、千田道子、山中小幸、長谷川智香子、
石子裕規

事務局：川尻こども未来部長、野田こども未来部次長
村田多世代交流プラザ所長、野村男女共同参画係長
宇陀主事、安藤主事補、仁井原団体育成指導員、
奥田団体育成指導員、株式会社名豊 古川主任

[欠席者]

委 員：中川明美、関哲雄、近藤健一、井上靖生

[傍聴者]

なし

4 議 題

- (1) 第4次小牧市男女共同参画基本計画（ハーモニーⅣ）に係る令和6年度実績報告及び令和7年度数値目標について（資料1）
- (2) 第5次小牧市男女共同参画基本計画（ハーモニーⅤ）策定に係る小牧市男女共同参画に関するアンケート（案）について（資料2）

1 あいさつ

[村田所長]

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまより、令和7年度第1回小牧市男女共同参画審議会を開催させていただきます。

本日、議事進行を務めさせていただきます事務局の多世代交流プラザ所長の村田と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、資料の確認をさせていただきます。

事前に送付させていただきました次第、1と2、1がA3で、2がアンケートとなっております。それから委員名簿、それから今日机の上に置かせていただきましたハーモニーⅣの本編の冊子と概要版、それから男女共同参画に関するアンケート（案）、以上となっております。

本日これらの資料を使っていきます。よろしくお願いいたします。

本会議につきましては、傍聴の申出はございませんでしたので、ご報告申し上げます。

なお、欠席の連絡は4名、中川委員、関委員、近藤委員、井上委員から連絡をいただいております。

追って、山中委員におかれましてはお見えになるとのことです。

また、この会議は公開となっておりますので、議事録等につきましてはホームページ、またそれから市の情報公開コーナーで公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ここでこども未来部長の川尻より御挨拶を申し上げます。

[川尻部長]

おはようございます。

こども未来部長、川尻と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、お忙しい中、また残暑が続きます中、お集まりいただきましてありがとうございます。

また、委員の皆様方には、日頃から男女共同参画推進のために御指導、御協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本日は本年度第1回目の会議になります。

今年度から新たな委員の任期が始まりまして、10人お見えになる委員のうち6人の方が交代されました。今回からは人権に関わる部分も多くありますので、人権擁護委員の方、お二人にも新たに委員に加わっていただきました。2年間の任期となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日の議事ではありますが、令和4年度からスタートしております第4次小牧市男女共同参画基本計画、ハーモニーⅣとっておりますが、これに基づきまして様々な施策に取り組んでおりますが、令和6年度の実績報告とその取組内容を受けました令和7年度の数値目標について、それから令和9年度からスタートする予定となっております第5次小牧市男女共同参画基本計画ハーモニーⅤ策定に向けて、事前にアンケートを実施いたしますので、そのアンケートの内容について御審議いただくこととなります。

委員の皆様におかれましては、限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

[村田所長]

ありがとうございます。

それでは、審議委員の皆様については、2年毎に改選をしております、令和7年度はその改選の年となります。委嘱状につきましては、大変恐縮ではございますが、本日、机上で配付をさせていただきましたので、よろしくお願いいたします。2年間よろしくお願いいたします。

また、名簿をお配りしておりますが、今回から新たな委員もお見えになりますので、改めて御紹介をさせていただきたいと思っております。

長崎県立大学及び名古屋経済大学名誉教授の代田義勝委員。

[代田委員]

代田と申します。よろしくお願いいたします。

[村田所長]

名古屋工業大学大学院准教授の武藤敦子委員。

[武藤委員]

武藤です。よろしくお願いいたします。

[村田所長]

本日は欠席されておりますが、CKD株式会社人事部ダイバーシティ推進室長の中川明美委員、NPO法人こまき市民活動ネットワーク代表理事の関哲雄委員、そして、この令和7年度より新たに御協力をいただくことになりました6名の委員の方を紹介させていただきます。

元小学校長の千田道子委員です。

[千田委員]

よろしくお願いいたします。

[村田所長]

まだお見えになっておりませんが、人権擁護委員の小牧地区委員会副委員長の山中小幸委員、一般公募で選出させていただきました長谷川智香子委員。

[長谷川委員]

長谷川です。よろしくお願いいたします。

[村田所長]

同じく一般公募で選出をさせていただきました石子裕規委員。

[石子委員]

石子です。よろしくお願いいたします。

[村田所長]

本日は欠席をされておりますが、元中学校長の近藤健一委員、人権擁護委員小牧地区委員会委員長の井上靖生委員。

時間の都合上、ご紹介のみとさせていただきますが、皆様には様々な視点から男女共同参画についてご意見をいただければと思いますので、2年

間どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、4月の人事異動によりまして、昨年と変更となりました事務局の職員もおりますので、改めまして事務局の紹介をさせていただきます。

はじめに、先ほど挨拶をさせていただきました、こども未来部長の川尻でございます。

[川尻部長]

よろしくお願ひいたします。

[村田所長]

こども未来部次長の野田でございます。

[野田次長]

次長の野田と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

[村田所長]

男女共同参画係長の野村でございます。

[野村係長]

野村です。よろしくお願ひします。

[村田所長]

男女共同参画係担当の宇陀でございます。

[宇陀主事]

宇陀です。よろしくお願ひします。

[村田所長]

同じく担当の安藤でございます。

[安藤主事補]

安藤です。よろしくお願ひします。

[村田所長]

団体育成指導員の仁井原でございます。

[仁井原団体育成指導員]

仁井原と申します。よろしくお願いいたします。

[村田所長]

同じく団体育成指導員の奥田でございます。

[奥田団体育成指導員]

奥田です。よろしくお願いいたします。

[村田所長]

また、次期男女共同参画基本計画策定の業務委託支援をお願いしております株式会社名豊の古川様でございます。

[株式会社名豊 古川主任]

株式会社名豊の古川と申します。よろしくお願いいたします。

[村田所長]

今年度はこのメンバーで審議会を運営してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、審議会の会長、副会長の選出を行いたいと思います。

小牧市男女共同参画審議会規則第2条の規定により、委員の互選となっております。どなたか意見があればお願いいたします。

もしないようであれば、事務局のほうで案を申し上げさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

[挙手する者なし]

[村田所長]

ありがとうございます。

それでは、事務局から提案させていただきます。

前回、審議会の会長を務めていただきました代田委員、それから副会長を務めていただきました武藤委員に引き続き、それぞれ会長、副会長をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

[拍手]

[村田所長]

ありがとうございます。

それでは、会長は代田委員、副会長は武藤委員に決定いたしました。よろしくお願いいたします。

それでは、正・副会長、それぞれ一言ずつ御挨拶いただいてよろしいでしょうか。

[代田会長]

代田と申します。

実は結構長年やっております、長いだけ取り柄だと言われないうちに一生懸命やりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

[武藤副会長]

私は大学でAIの研究をしております、またダイバーシティ推進センターというところで副センター長をしております、女子学生が工学部に目を向けてくれるような活動を行っております。小牧市さんとは少し長い付き合いとなっておりますが、お役に立てるように努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

[村田所長]

ありがとうございました。

会長をはじめ各委員の皆様におかれましては、令和8年度までの2年間でございますが、よろしくお願いいたします。

では、議事に移らせていただきます。

小牧市男女共同参画審議会規則第2条の規定により、代田会長に取り回

しをお願いいたします。

2 議事

[代田会長]

それでは、本日は議事2つとなっております。

1つ目は、現在の基本計画ですね、ハーモニーⅣの昨年度の実績の報告と今年度の数値目標になるかと思えます。よろしくをお願いいたします。

まず(1)、ハーモニーⅣに係る6年度報告ですね。

2つ目がアンケートですね。

まず1点目ですね、昨年度のハーモニーⅣにおける実績報告と今年度の数値目標についてということで、事務局のほうから、ご説明よろしくをお願いいたします。

[野村係長]

それでは、議題(1)第4次小牧市男女共同参画基本計画に係る令和6年度実績報告及び令和7年度数値目標について説明させていただきます。

少し長くなりますので、着座にて説明させていただきます。

今年度からの新規の委員の方もいらっしゃいますので、ハーモニーⅣの概要について簡単に説明をさせていただきます。

ハーモニーⅣの本編の冊子、厚いほうの冊子ですね、こちらのほうをお願いします。

こちらの2ページをお願いします。

ハーモニーⅣでは、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画の期間とし、男女共同参画推進に関する基本計画として柱となる3つの基本目標を設定しました。

続いて、34ページ、35ページをお願いします。

計画の3つの基本目標、施策の方向、基本施策の体系図になります。

36ページ以降には、それぞれの基本施策とそれに対する具体的な事業内容、また具体的な事業内容には指標項目が1つ以上存在して、これを推進する担当課が割り当てられております。目指す方向については、計画の最終年度であります令和8年度までに目指していく数値の方向性を示しております。

次に、47 ページから 49 ページですね。

こちらのほうに指標が一覧としてまとめてあります。

簡単ですけれども、このような現在の計画をこちらの冊子にまとめてあります。お手元に概要版を配布しておりますので、またご参考になさってください。

では、資料 1 のほうをお願いします。

ハーモニーⅣでは、毎年事業実績の結果を基に次年度の目標値を設定するという運用になっており、令和 6 年度事業実績及び令和 7 年度の数値目標について各担当課に照会を実施し、その回答をまとめたものとなっております。

資料については事前に送付をしているため、詳細については割愛させていただきますが、基本目標ごとに抜粋して説明をさせていただきます。

では、基本目標のⅠの表紙、1 枚目ですけれどもお願いします。

施策の方向 1 としまして、政策・方針決定の場における男女共同参画の推進となっております。

この一番上の指標ですが、審議会等附属機関への女性の登用率については、令和 6 年度の目標値が 27% となっております。それに対して実績のほうは 25.2% でした。

内訳としまして、55 ある審議会等のうち、男性が 517 名、女性は 174 名です。

目標値には届きませんでした。女性委員がゼロ人の審議会が 4 つありますが、小牧市休日急病診療所運営協議会などの女性委員の割合が増えたことに伴って、令和 5 年度の実績と比較して 0.7% の上昇となりました。令和 7 年度の目標値を 27% として、引き続き審議会等の改選時において、全課を対象とし女性委員の積極的な登用について働きかけを行ってまいります。

次に、少し飛びますが、施策の方向 3 のほうへお願いします。

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現のうち、市役所における男性育児休業取得率については、令和 6 年度の目標値 50% に対し、実績は 63.6%。市役所における男性育児の休業取得率のところでは、

目標値、令和 6 年度の目標値が 50% に対して、実績が 63.6% と大きく増加しました。その理由としましては、職員への定期的な周知や取得経験者

の増加などにより、男性育児休業の取得意識が醸成されたためであると考えられます。令和7年度の目標値を70%とし、引き続き取得しやすい職場環境を整えるとともに周知を図ってまいります。

ページのほうをおめくりいただきまして、基本目標のⅡですね。

施策の方向1. 男女共同参画意識の普及・啓発、そのうち固定的な性別役割分担に反対する男性の割合については、令和6年度目標値82%に対し、実績値は78.7%でした。目標値には届きませんでした。令和5年度の実績と比較して1.5%の上昇となりました。男女共同参画講座の開催や男女共同参画のための情報誌「かすたねっと」、机の上にも配布をさせていただいていますが、情報誌の配布などによる啓発効果であると考えられます。令和7年度の目標値を82%とし、引き続き固定的な性別役割分担意識について理解を深めることができるよう講座などを行ってまいります。

続きまして、下の段ですが、男女共同参画に関する講座・講演の参加者数についてお願いします。

大変申し訳ないのですが、数値のほうに誤りがありましたので、この場で訂正をさせていただきます。

まず、令和6年度の実績値について、資料のほうでは1,705人となっておりますが、正しくは1,747人となります。訂正のほうお願いいたします。

[村田所長]

3枚目ですね。3枚目の開いていただいた3段目。

[野村係長]

1,705人が1,747人に訂正をお願いいたします。

その右側のところですが、目標値に対する現状分析、課題の欄ですが、こちらのほうにつきましても伴って資料のほうで、講座のところは1,031人となっておりますが、正しくは1,073人となります。申し訳ありませんが、修正のほうをお願いいたします。

こちらのほうですが、目標値が令和6年度の目標人2,600人に対し、実績値は訂正後で1,747人でした。目標値に届かなかった要因としましては、目標値を設定した時点よりも講座の開催する回数を縮小したことであると考えられます。現在数多くの講座を企画運営しておりますが、限られた予

算の中でより効果的に男女共同参画意識の啓発につながるものはどのような講座であるのか、市役所内で類似の講座がある場合はどちらか一方のみの開催でもよいのではないかなど、講座の内容や回数について検討を重ねているところです。講座の内容や回数について引き続き精査し、真に必要なものとされるものについて実施をしていく予定です。

[村田所長]

すみません、1点、説明をさせていただきます。今と同様のページの普及員の設置区数と書いてあるところですね。3枚目の5段目、普及員の設置区数のところについてですが、地域の区から大変厳しい要望をいただいております、区としての推薦がなかなか難しいですよということを意見としていただきましたので、目標値としての31区という設定はしないものの、各区を通じて委員に手を挙げていただくように周知を図っていきたいというふうに思っております。7年度は既に委嘱していますので、8年度から目標値を設定しないということで、させていただきたいというふうに考えております。8年度から委嘱しないということで、目標値を設定しないということでお願いいたします。すみません、失礼しました。

[野村係長]

では普及員のほう終わりました、次4ページですね。基本目標のⅢ、裏面のほうへお願いします。

一番下の欄で、施策の方向4です、生涯を通じた健康づくりのための支援。4ページの裏の一番下ですね。

基本目標Ⅲの施策の方向4. 生涯を通じた健康づくりのための支援のうちウオーキングアプリ「a1k0」ダウンロード者数については、目標値2万6,500人に対し実績値は2万8,365人でした。市民まつりなどのイベントで周知したことがダウンロード者数の増加につながったと考えられます。

実稼働者数についても1万人を超える方に利用いただいている状況が続きます、健康づくりの習慣化につながっているものと推察されます。

今後に向けては、さらに働き世代や子育て世代を中心とした健康づくりに時間を取りづらい世代に対し、活用していただくような取組を推進して

まいります。

以上、令和6年度事業実績及び令和7年度の数値目標について抜粋をして説明をさせていただきました。

また、本計画はPDCAサイクルにより進めてまいりますので、今回設定した令和7年度の目標値に対する実績結果は、今年度末に各課に照会により集約し、その結果を基に令和8年度、新たに目標値設定を実施するといった形で進捗管理を行ってまいります。

以上で、議事(1)の説明を終わります。

[代田会長]

ありがとうございました。

皆さんいかがでしょうか。ご意見、ご質問等ございましたら御発言ください。

[武藤副会長]

説明ありがとうございました。

いくつかの項目で目標値に達していたり、超えていたり、力を入れた結果だと思えるのですが、それ以外に目標値に届かなかったものとかもいくつかあると思うのですが、さらに次の目標値が昨年度より低くなっているのがいくつかあると思うのですが、先ほどの講座に関しては理由の説明を受けていますので納得はしたのですが、例えば、ウィメンズネットこまきの加入団体数とかは、目標値6年度が15団体に対して、14団体に下がっているのですが、例えば、今のウィメンズネットこまきの加入者数が何か理由が必要かなとは思っているのですが、何か目標値を下げることに對しての説明とか、もしあればお願いしたいなと思います。

[代田会長]

いかがですか。

[野村係長]

今いただきましたウィメンズネットの目標値のほうが令和6年度15団体、令和7年度目標値が14団体で目標値が下がっている理由についてで

ありますが、こちらのほうがいろいろなきっかけを見つけて勧誘などはしておるところですが、やはり団体を、既存の団体さんというものがそもそも高齢化が進んでおりました、なかなか若い団体さんがいないというのが実際のところでした、加入されても若い団体さんでも辞めてしまったりというところで、数値としては数が減った形にはなっておりますが、この団体数を維持していくというような形で下がった形にはなっておりますが、継続ということで数値のほうを出しております。

〔武藤副会長〕

ありがとうございました。

あとは、1-2の労働講座受講者数についてですが、目標値となっているのですけれども、受講者数関係については先ほどと同じような理由でしょうか、講座自体が少なくなっているとか。

〔野村係長〕

今ご質問いただきました労働講座のほうですが、こちらが愛知県のほうから講座を開きますというような形で依頼がありまして、日時とかを調整して、この今言われた1-2の部分については商工振興課が開催しているものですが、ママ・ジョブ・あいちといった形で多世代のほうでもやっているのですけれども、親の都合だったり、子の都合だったり、タイミングがどの日にすると多く来ていただけるのかなというところが難しいところでした、人数のほうは若干上下するのですけれども、引き続き開催のほうをして、働く場について相談のほうをして、社会のほうへ出ていけるようにしたいということで考えております。

〔代田会長〕

これさっきのウィメンズネットこまきの加入団体ですが、かなりご高齢化しているということなんです、これって男性は入れなかったんでしたっけ、入れるんでしたっけ。全員が女性じゃないといけないですか。

〔仁井原団体育成指導員〕

一応女性という基本的な条件はあるのですけれども、まなび創造館で開

催した講座においてはその限りではなくて、男性のグループでも加入していただけます。

[代田会長]

そうなんですね。

[石子委員]

私もその団体に加入しているんです。

男性だけでつくっているグループもございます。私はたまたま男女共同でやっているというふうになります。

[代田会長]

そういう形で、男性も取り入れられれば増えるかもしれない。

[石子委員]

ただし、やっぱり皆さん高齢化で、新しい若い人がなかなか参加しづらいとか、子育てとか介護で、平日そういう会をやっておるんですが、なかなか参加しにくいという状況ですね、実際は。

[代田会長]

ウィメンズネットこまきもそうですし、講座自体もやっぱり若い人が徐々に少なくなってきましたよね、参加者が。そこら辺でも若い世代を開拓というかね。

[石子委員]

そうですね。どうやってそれを誘い込むかというのが多分この課題じゃないかなと思いますね。

[代田会長]

入ってこないとだんだん先細りですもんね。

[石子委員]

多分先細りになっちゃうと思うんですね。

ちょっと知恵を絞らないと。何かいい知恵があれば教えてください。

[武藤副会長]

お聞きしたいんですけれども、ウィメンズネットこまきというのが、まず加入するかというのはどういう基準でというか、手順ですか。男性でもできるとか聞いてちょっと驚いたんですけれども、どうなんでしょうか。

[仁井原団体育成指導員]

ウィメンズネットこまきというネットワークグループと当館のまなび創造館の施設の減免利用というのがくっついていまして、例えばウィメンズネットこまきには詩吟の団体、詩吟を主な活動としていらっしゃる団体があって、その方はまなび創造館あさひホールのご利用をよくしたいというご希望があって、そうすると施設を減免、50%減免であったり、100%減免であったりといういろいろなルートがある中であさひホールを使いたい、減免していただけるなら、ウィメンズネットこまきには入りたいといういろんな理由があるんですね。

そもそも、ウィメンズネットこまきは男女共同参画を市に代わって推進するという大きな目的があります。

条件は5人以上の女性の団体であるというところから、あとウィメンズネットこまきでは年間を通していろんな活動をしているんですけれども、そこに参加ができることということが条件になっています。

[代田会長]

あれ、ワイワイっとまつりって今やっていますよね。そこへは積極的にご参加いただいているんですね。

[仁井原指導員]

基本的には加入団体全員参加していただくという感じで。ただワイワイっとまつりについて、加入団体が減少したことによって、前回までは毎年開催していたんですけれども、今は3年に1度とし、力をそこに集約して

開催しましょうということになっておりまして、今年度開催の年ではありませんので、来年の1月にワイワイっとまつりを開催する予定で、今皆さん一生懸命準備していらっしゃいます。

[代田会長]

そういったイベントの中でもご活躍いただいて、男女共同参画につなげて行っていただきたいですね。

[武藤副会長]

名称が女性、ウィメンズと書いてあるので、もう少し男女共同というような両方の形になるほうが共同という形でいいかと思います。

[代田会長]

男性として違和感ありますか。

[石子委員]

いや特には。もう慣れちゃいました。

最初は、おっしゃるとおり違和感は、ウィメンズですからありましたけれども、もう加入して3年、4年ですからね、もう慣れました。

[代田会長]

今後その辺もちょっと検討していく必要があるかもしれませんね。

[仁井原指導員]

承知しました。

[代田会長]

そのほかいかがでしょうか。

[山中委員]

遅れてすみませんでした。人権擁護委員の中から参加しております山中と申します。

ちょっと直接男女共同参画と関係があるのかどうなのか分かりませんが、先ほど説明がありましたので、ウォーキングアプリの「a l k o」についてちょっと質問を。

私自身はちょっとこれダウンロードしていない、別のアプリでやっているんですけども、これをやっている方に聞いたところ、人数は増えているようですけれども、前はい～なも券とか何かそういうちょっとした御褒美が頂けていたと思うんですけども、だんだん数も少なくなったり、非常に抽選で厳しくなっているというようなお話を聞きました。そして健康のためにすごく意欲的にやってみえる方も見えるので、できればそういう何かもっと広く、ほんのちょっとしたものでも利益があるということがやっぱり意欲がすごく出てきますので、高齢化の方のそういう健康のためのお金を払うよりも、何かそれがすごく効果的なのではないかなと思っていますので、若い女の方でも子育て中の方でも、そういうのにもっと参加したいという意欲につながるのではないかなと思いますけれども、どうでしょうか。予算の問題も非常にあるとは思いますが。

[村田所長]

私からお答えさせていただきます。

「a l k o」は健康生きがい推進部というところでやっているのですが、皆さんに健康を少しでも意識してもらえるようにというふうに始められて運営をしております。実際、多くの方がダウンロードしていただいている中で景品を絞ってきているというのは、そういう話も聞いておりますので、またこういうご意見があったことをその担当課のほうに伝えさせていただきたいというふうには思います。

[代田会長]

そのほかいかがでしょうか。

[挙手する者なし]

[代田会長]

では私のほうからすみません。

最初のところですが、審議会等附属機関への女性登用ですけれども、こ

れかなり前からほぼほぼこの数字でずっと推移しているんですね。これはやっぱりどこかでしっかり取り組まないと変わらないんじゃないかという気がしているんですよ。今その審議会の中には女性がゼロというのが4つあるという御説明がありましたが、やっぱりゼロはまずいと思います。他の自治体等ではそれにならないように工夫をしている、ゼロをなくしていっていますので、いろいろ規程をいじるのがまたいいかどうか分かりませんが、女性がまずはゼロの委員会をなくすということをちょっと頑張っていただければありがたいなあと思うんですけれども。そうすると少しは変わりますよね。徐々に全体を増やして、やっぱり30%ですよ。30%を超えるように持っていかないとですね。やっぱり子育てに優しい小牧市ですから、女性にも優しい、女性の意見が反映されるというところを示す必要があると思うんです。ぜひお願いしたい。

これ改選というか、ほぼ今年度はどこが改選になるかというのは分かるわけですよ。そうするとピンポイントでお願いしていくという形ですね。ちょっとお手数をおかけしますが。ぜひお願いしたいと思います。

[村田所長]

頑張ります。

[代田会長]

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

[挙手する者なし]

[代田会長]

それでは議事(2)のほうに参ります。

第5次小牧市男女共同参画基本計画（ハーモニーV）の策定に係る小牧市男女共同参画に関するアンケート（案）ですね。また事務局のほうからご説明をお願いします。

[野村係長]

それでは、議事(2)第5次小牧市男女共同参画基本計画策定に係る小牧市男女共同参画に関するアンケート(案)について説明させていただきます。

委員の皆様からいただきましたご意見を反映させたものを、本日追加資料として机の上に配付いたしましたので、そちらのほうを御覧ください。

よろしいでしょうか。

それでは、説明のほうさせていただきます。

アンケートの項目につきましては、ハーモニーⅣの策定時の調査内容をベースとしておりますが、前回調査が5年前でしたので、そこからの時代や意識の変化などがありますので、国、県の動向や同規模の自治体と比較して、いくつか設問を変更いたしました。抜粋して説明をさせていただきます。

まずアンケートのほう、お手元にあるアンケートと書いてあるものですが、4種類ありまして、小学生向け、中学生向け、一般向け、事業所向けと4つあります。

まず小学5年生、小学校が小学生向けということで、5年生向けにしております。

1つ目が小学校、中学校、一般向けとなっておりまして、対象としまして、小学校は5年生、中学校が中学2年生、一般向けのほうが20歳以上の小牧に在住する市民が3,000人の方、事業所向けのほうが300社を対象としております。小学生向け、中学生向けのほうでちょっと説明をまとめてさせていただきます。

小学生向けのほうのアンケートをお願いします。

この中で小学生向けの4ページ、問10と中学生向けのほうの6ページの問13、同じ項目なのですが「男性が家事(育児、介護などを含む)を行うことについて、あなたの考えにあてはまる番号をすべて選んでください」についてですけれども、こちらのほうは近年のジェンダー平等や働き方改革の一環として重要なテーマとなっている男性の家事への参画について、子供の段階で考え方はどのようになっているかを把握するために新たに設定しました。

また、小学生向けの5ページ、問13、中学生向けの同じページ、6ページの間15、こちらのほうの「将来なりたい仕事を実現する上で、「男であること」もしくは「女であること」といった性別が影響すると思いますか」

についてですが、国が掲げる「女性活躍、男女共同参画の重点方針2025」では科学技術や学術の分野での活躍が推進されています。その中で、自身や周囲の経験から性別が職業実現において制約となっていると感じるか、それとも影響がほとんどないと考えているか、その意見や感覚の現状を把握し、男女平等の視点を強化したキャリア形成指導の推進につなげるために新たに設定しました。

次に、一般向けのほうに移ります。

一般向けの5ページ、問9「あなたは家事（育児、介護などを含む）に費やす時間をバランスの取れたものとし、働く場における女性の活躍を更に推進するためには、どのような取組や支援が必要であると思いますか」、こちらについてですが、女性が働き続け、活躍するためにはどのような取組が必要であるか把握するため、新たに設定しました。

次に、9ページの間16で「あなたは身近な人などからカミングアウトされた場合、どのように寄り添える・受け止められると思いますか」についてですが、令和5年に性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律が施行されたことを背景に、性的指向や性自認に関する多様な考え方をどのくらい受け入れ、排除できるかという視点を明らかにし、多様性への理解や尊重の程度を把握するために新たに設定しました。

同じページで下ですね、問18「あなたは、小牧市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を知っていますか」についてですが、令和5年2月に施行された小牧市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について、認知度を把握するため新たに設定しました。

最後にですね、資料のほうには記載はないのですが、問25として「男女共同参画について、何かご意見があればお聞かせください」としまして、自由意見欄を設けさせていただきます。

一般につきましては以上で、次に事業所向けのアンケートに移ります。

事業所向けのアンケートの3ページの間6「女性従業員が活躍することで、どのような効果があると思いますか」についてですが、国が掲げる「女性活躍・男女共同参画の重点方針2025」において、女性の起業支援や意思決定層への参画拡大が推進されているほか、事業所が女性の活躍をどのように捉えているのかを把握するため新たに設定しました。

また問 12、5 ページのほうをお願いします。

5 ページの問 12「貴事業所では令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの間に、介護休業を取得した人は何人いましたか」についてですが、休業制度は育児休業のみではなく介護休業もあるため新たに設定しました。

次のページ、6 ページの問 13 についても同様の理由です。

こちらの事業所のほうにつきましても、資料のほうには記載がないですが、問 21 としまして「貴事業所が男女共同参画を推進するうえで、何かご意見があればお聞かせください」としまして、一般向けと同様に自由意見の記入欄を設けます。

事業所については以上になります。

なお、アンケートの回答の方法ですが、こちらにつきましても、小学生、中学生向けにつきましても、学校で児童・生徒に回答をいただく予定です。前は調査用紙での回答としておりましたが、ペーパーレス、事務改善の観点から生徒個人に配付されておりますタブレット端末で回答ができるよう現在教育委員会と調整を進めており、タブレットで学校の授業の時間をどこかで使わせていただいで回答をいただくというふうに進めている段階です。

一般、事業所向けのほうにつきましても、インターネットの専用フォームにて回答いただく方法、調査用紙に直接記入いただく方法の 2 種類としております。

以上、小牧市男女共同参画に関するアンケート（案）につきましても、抜粋して説明させていただきました。

以上で議事（2）の説明を終わります。

[代田会長]

ありがとうございました。

委員の皆さん、いかがでしょうか。

何かご意見、ご質問があればご発言ください。

[武藤副会長]

ご説明ありがとうございました。

小学生向けの問 9 と中学生向けの問 10 というのは、以前からある項目

なのでしょうか。

[野村係長]

確認します。

[武藤副会長]

といいますのも、以前からあるもので経年の変化を見るということが必要かとは思いますが、何かこういう男女で役割分担をして仕事をすべきだという考え方をあえて小学生とかに伝えるということが、逆にアンコンシャスバイアスにつながるのではないかというのをちょっと心配をしてしまうんですが、こういう何か古い考えとか昔の考えというような補足みたいなのができないかなと。

[代田会長]

以前はとか。

[武藤副会長]

以前はとか。

何かこういう考え方がある意味、小学校の先生がいらっしゃるのでお聞きしたいんですけど、やっぱり最近の子たちは認識としてどうなんでしょうか。

[千田委員]

あまりないと思います。

この、男は仕事をして、女は家で家事をするというようなことをあえて小さいときから家で言われているというような子はいないんじゃないかなあと思います。

[武藤副会長]

何かわざわざ知らない子にこの考えを伝えるということが「ああ、そうなんだ」と思ってしまおうと思うんです、特に女の子とか。何かちょっとそ

こは心配かなと思います。

[代田会長]

これ昔からある設問ですよ。

[野村係長]

はい。

[代田会長]

かなり前、20年前ぐらいからずっとやっているものですがけれども、やっぱり最近になって、直近が2020年の調査ですよ。それで見ると、実はかなり小学生も中学生もこれにとらわれているところがあったような感じ、印象を持っているんですよ。だから、この5年間でどれだけ変わっているのかというのはちょっと見たいところではあります。これでそういうふうに考えていくんだみたいなのを植え付けるというのも本意ではないですよ。ただ、まあ今回はこれちょっとやっぱり入れておいて、変化があるかどうかというのは見たいかなあと思います。

[長谷川委員]

こういうのって質問の書き方だと思って、さっき、問10でも、例えばこの家事を行う男性は時間の使い方が上手で仕事もできると言われれば、そりゃあできないよりはできたほうが上手だと思うよねというふうで、何と言うんでしょう、質問が気持ち誘導になる、その回答を誘導する、質問が意図的ではなく、そうになってしまうとどうしても。参加すると充実感を得られる、ああ、そう言われればそうなのかもしれないなというふうに丸をつけていってしまう。どっちでもないという選択肢がなくて。なので、最後出したときに、例えば極端な例だと全部に丸をつける子とか、ああ、こう言われればこうなんだというのと全く正反対のことを聞いているのにどっちもになってしまっていて、この質問に回答が誘導されちゃうようなあれがあるので、ちょっと本当に1個ずつきちんと見たわけではないし、もちろん皆さんがつくられたのが質問のその聞きたいことの意図を私がきちんと理解しているわけではないのであれなんですけど、質問が誘導になって

いないかなというのを、そういう視点で一度ざあっと見ていただくと、こう聞かれたらこう答えるよねという前提があるものもあるんじゃないかなとは思います。

[千田委員]

1 ついいですか。

これ小学生が小学校5年生でアンケート取って、小学校5年生がちょうど家庭科の勉強が始まる、家庭科の4月、5月のところで、あなたのうちではこの仕事をどんなふうに、1週間くらい御飯を作るのは誰とか、洗濯をするのは誰とか、犬の散歩は誰とか、弟や妹が帰ってきたら面倒を見てとか、そういうのを自分でやってきて、それをみんなでグループとかで話し合ったりして、すごく家庭が関係すると思うんですね。自分の家だと、お父さんもお母さんも同じように家事をしたり、仕事も2人とも行くという家庭で育った子は、家事をお母さんが多く担っている家庭の子がいるとええっとびっくりするという。だからこれ5年生ぐらいでやるんだと思うんですけど、5年生でやっていいと思うんですけど、経年変化というのはやっぱり大事だと思うから、今回は見ておいて、その次のときにはやっぱりちょっとここの文言を、昔はこういう考え方、こういう考え方じゃない家も本当に、小学生を見ていると増えてきているんですね。だから、変えていく。本当、割と多くの家庭でお父さん、お母さんも同じようにとか、分担をしていたりとか、本当そこでびっくりする、うちと違うなあとびっくりする家庭とかがあるから、やっぱり今年まで見ておいて次から、特に今年ってコロナが5年間ということがあっていろんなことが、在宅でやる仕事の人とかも増えたし、変わってくるから見ておいて、その次のときから変えていくといいのかなと思いました。

[代田会長]

ありがとうございます。

どうしましょう、いいですか、この文言で。

[武藤副会長]

意見として述べさせていただきました。

ご検討ください。

[代田会長]

そのほかいかがでしょうか。

名豊さん、これは例えば、ここでは役割分担をするという考え方についてとなっていますが、それこそさっきのご意見にもありました、かつてこういう考え方もありましたがというようなそういう文言にしている自治体というのはほかにありますか。

[株式会社名豊 古川主任]

そうですね。このところやっぱりちょっと設問文を変えてしまうと、経年比較というところで見ると、やっぱり捉え方が変わってしまうものなので、単純に比較ができない部分になってしまう部分があるので、おおむねほかの自治体においても今はこの形で調査を行っているところが多いかなと思います。

もし見直すのであれば、やっぱり経年の比較をする場合のちょっと参考値みたいになってしまうところもあるので、そこをちょっとどう捉えていくかというところですね。

[代田会長]

さっきおっしゃったようにコロナというものを経て、かなりやっぱり男性が家にいるという時間が長くなったので、そこに結構何か変化があるかもしれないので、ちょっと同じままにしておいて比較するというのもいいかもしれませんね。

そのほかいかがでしょうか。

なかなか難しいですね。

時系列で見ていくという、定点調査の意味合いも含めると、やっぱり文言というのはなかなか変えづらいというのがありますしね。やっぱり明らかに変わってきたなということが分かれば、その辺りで1回ちょっと考え直してみてもいいですかね。

ありがとうございます。すごくいい指摘です。

他いかがでしょうか。

よろしいですか。

私もこれ全部ずっと自分がそのつもりになってざっと見たんですけど、意外と時間がかかるのかなと思ったんですが、まあ結構早くできましたね。ただ、いくつか迷うようなものがありましたけどね。その辺り、いろいろとお伝えしていきます。

あと、先ほど事務局のほうからご説明がありましたが、フリーアンサーを最後につけることですね。これはとってもいいと思います。やっぱりフリーアンサーをつけたほうがいろいろな思いがある方がいらっしゃるんで、それがしっかり我々というか市のほうに伝えられるといいのかなあと思います。全部しっかり書いてくる方いらっしゃいますのでね。

あとはいかがでしょうか。

よろしいですか。

[山中委員]

すみません。

小学生の最後のところなんですけど、6 ページの間 15 なんですけど、セクシュアル・マイノリティについての質問なんですけど、下にセクシュアル・マイノリティについて 1 行半ほど説明はあるんですが、子どもたちがこれだけを読んで意味が分かるのかなと思いますがいかがでしょうか。事前に多少の知識がないとこの問題を読んですぐに答えるということがちょっと難しいのではないかなと思いましたが。

[野村係長]

こちらの項目につきましては、教育委員会のほうにも今確認中でして、説明をこういうふうにしてほしいとかそういうご意見いただいています、今日の審議会が終わりまして、教育委員会のほうとも最終の調整をしまして、またその点についての再度確認をしたいと思います。

[山中委員]

ありがとうございます。

[代田会長]

なかなかやっぱり難しいかもしれませんね。分かりづらいかもしれませんね。またご検討いただくようお願いいたします。

[武藤副会長]

学校の授業の中で正式にこういうのは学ぶんですか。

[千田委員]

ちよっとももちろん保健体育とかいろんなことで学ぶと思うんですけど、今保健体育というかそういうことは3年生からやっているんですけど、このLGBTQは何年生で出てくるかとか、教育課程とかを見ると分かると思うので、きっと教育委員会の方もそれを見て、ああ、もう分かっているねとか。そこがしっかり分かってこの設問も答えなきゃいけないのか、自分のイメージでまず5年生が答えている。中学校はこの辺りがちょっと詳しくなっているじゃないですか。詳しく知った上で答えなきゃいけないけれど、5年生だったら自分の持っている知識で、でもこれを多様な世の中だからやっぱり入れて、この設問は入れておくみたいなことじゃないかなと思います。

[代田会長]

なかなか難しいですもんね。この辺りも分からないと答えられないですよ。子どもでもわかる子どもはわかりますよね。

[千田委員]

分かると思います。

[代田会長]

まあそれぞれの子供の理解の中で答えてもらうということなんでしょうね。これ名豊さん、他の自治体でも小学生向けではこういった設問ってありますか。

[株式会社名豊 古川主任]

そうですね。近年やっぱり入れるところが多くて、それぞれの、こういう設問を入れることによってちよっと気にしてもらおうというか、ちよっと

周知啓発的な部分の意味合いも込めた形でその設問を設定している部分もありますので、やはりそういう格好で、小学校の段階からこういった多様性の中でこういったこともあるよというのを知ってもらおうというところの一環でもあると思います。

[代田会長]

ありがとうございます。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

[挙手する者なし]

[代田会長]

それでは、基本的にはこの形で審議会としてはお願いしていくということになります。

そのほか、議事とは別に何か委員の皆さんのほうで発言しておきたいことございますか。

よろしいですか。

[挙手する者なし]

[代田会長]

それでは事務局のほうにお返しいたします。

[村田所長]

ありがとうございました。

代田会長におかれましては、スムーズな議事進行ありがとうございました。

また、委員の皆様におかれましても貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。検討すべきところは検討し、また必要なところは各課に問い合わせていきたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

それでは、次回の審議会についてですが、今年度は3回の審議会を予定しております。第2回につきましては一応11月の中旬頃を予定しております。また改めて日程調整をさせていただきたいので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、これをもちまして令和7年度第1回小牧市男女共同参画審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。